

令和 8 年度第 1 回豊明市営墓地・都市公園指定管理者審査委員会

議事要旨録

日時 令和 8 年 7 月 30 日（木）

午前 10 時 00 分～

場所 豊明市役所 教育委員会室

○出席者（敬称略、順不同）

審 査 委 員：井澤（委員長）、金子（副委員長）、中田、浅井、星子

事 務 局：都市計画課 公園施設係、環境課 環境保全係

生涯学習課 文化・スポーツ係

指定管理者：豊明墓地・都市公園パートナーズ（以下“パートナーズ”と表記）

西武造園(株)（代表構成団体）、(株)豊橋園芸ガーデン（構成団体）

事務局より

当会議は非公開とする。議事録は要約したものとし、発言者は匿名とする。

委員 5 名のうち、出席 4 名で過半数以上の出席により会議は成立。

1. あいさつ

（委員長挨拶）

暑い日が続いており 40℃を超える日は猛暑日から酷暑日と呼ばれるように。暑さについて海外でも問題になっている。屋外施設である公園にとっては大きな課題となり、維持管理や運営について考えていかなければならない状況ということも踏まえて審査に臨みたい。

2. 議 題

（1）令和 7 年度管理運営の実績報告について

パートナーズより令和 7 年度の指定管理実績を事業報告書に基づき報告。

質問・意見等

(委員)

5年に1回の監査について、指摘事項はあるか。

(パートナーズ)

大きな指摘はございません。

(委員)

公園での事件事数が増加しており、特に栄中学校区での事件件数が多い。目撃情報により栄中学校の生徒と分かり、学校にて指導を行った。警察への被害届など対応いただいていると思いますが、公園の指定管理者として対策はどのように考えているか。

(パートナーズ)

グループでのイタズラが多いが、直接現場にて声掛けを行い、お互いに顔を知ることが大切だと考えています。

(委員)

学校とも連携しながら再発防止に努めてもらいたい。

(委員)

イベントが好評であり、収益も出ている。今後も継続して自主事業を行って欲しいが、実際に開催して感じた課題はあるか。

(パートナーズ)

駐車場が一番の課題だと考えています。春に三崎水辺公園でイベントを開催した際には付近での駐車場確保が難しく、路上駐車や周辺施設への駐車など対策する必要があり、対応に大きく労力を要しました。

(委員)

三崎水辺公園のイベントでは、路上駐車や苦情が少なく、良いイベントであった。

(委員)

事故について詳細を伺いたい。

(パートナーズ)

1 件目チェーンソー事故

樹木剪定中にチェーンソーで枝を切っていたところ、切った枝が手に当たり、その勢いで手がチェーンソーに触れてしまった。

2 件目墓標倒壊

除草・清掃作業中に墓石に隣接しているベニヤ板と接触し、ベニヤ板ごと墓標を押ししまい倒れてしまった。

(委員)

レンタル備品について、用意したものの利用実績が少ない。周知が出来ていないように思うが、対策は考えているか。

(パートナーズ)

ご指摘のとおり、周知不足かと思います。SNS など活用していきたい。

(委員)

大学生のボランティアと連携しているとのことだが、具体的な連携状況を聞きたい。

(パートナーズ)

イベント時のスタッフとしての協力が多いです。

(委員)

ブログの更新を多数行っているが、アクセス数など実際に効果はあるか。

(パートナーズ)

HP 全体は 2 万人が 4 万回アクセスしており、ブログは年 2000 回のアクセス。

(委員)

2000 回だと特定の人が大半だと思われるので、改善が必要ではないか。

(委員)

唐竹公園駐車場の有料化はどのような効果があったか。

(パートナーズ)

市に対する借地料の支払いもあるため、収入の面では大きくはありませんが、問題となっていた目的外利用の長期駐車が無くなったと思います。

(委員)

仏花販売や花苗の移動販売の状況を聞きたい。

(パートナーズ)

大変好評な状況であり、コミュニティ形成のきっかけになるなどの効果も出ていると思います。

(委員)

苦情要望集計にある感謝の内容はどういったものか。

(パートナーズ)

除草作業中に声を掛けていただくことが多いです。初年度に比べて綺麗になっているなどです。

(委員)

苦情要望の件数が減少しているが、要因はどう考えているか。

(パートナーズ)

初年度から除草作業が遅れることがあったが、業務の効率化が進んだことにより苦情数の減少に繋がったと考えています。

(委員)

苦情要望のその他とは何を指すのか。

(パートナーズ)

公園の利用マナー、落とし物の問い合わせなどが多いです。最近はボール遊びについての苦情要望が増えています。

(委員)

ボール遊びはどのようにコントロールしていくのか。

(パートナーズ)

全てのボール遊びを禁止する訳ではないので、難しいところです。

(委員)

学校での遊ぶ機会が減っており、スマホの普及もあり外で遊ぶ子供も減少しているように思う。

(パートナーズ)

どれほど影響があるかはわからないが、スマホ条例以降に子供の公園利用者が大きく増えているように感じています。

(事務局)

ルールばかりで遊べない公園になることを懸念しています。利用ルールを定める場合には区や町内会と相談して、公園ごとにルールを決定していきたいと考えています。

(委員)

学校で遊ぶ機会が減っているとのことでしたが、公園を活用するような案はありますか。

(委員)

学校に体育施設が整っており、教師の負担軽減を考えると学校から離れて活動することは現実的ではないと思う。部活動を教員以外の指導員に協力してもらうなどの話は検討している。

(委員)

アンケート（利用者満足度調査）では、比較的満足度が高くなってきている。アンケートの中に「清潔さ」という項目があるが、実際どういった状況か。

(パートナーズ)

ポイ捨てが多い状況。パトロールの際にはゴミ拾いに大きく時間を占めてしまう。犬のフンを袋ごとトイレに流されて詰まるなど問題は多く、対応したとしても数日後には同じ状況になる。いちごっこの状況です。

(委員)

植栽管理は地元との連携を重視して進めていただきたい。

(委員)

どうしても赤字が目立ってしまうが、内容を見て話を伺うと悪い状況ではない。

(委員)

市内雇用率の上昇は難しいか。

(パートナーズ)

募集はしているが、応募する人次第のためコントロールできず、難しい状況です。

(2) 令和7年度モニタリングレポート（年次評価）について

四半期ごとのモニタリングに基づき作成したモニタリングレポート（年次評価）について各項目の説明。団体の経営状況について金子委員から分析結果の報告。以上を踏まえ審査会のコメントを以下のとおりとした。

「変わらずの赤字ではあるが、昨年度までに比べて赤字額が大きく減少しており、収入の増と支出の減に努めている。収入増の柱であるイベントは盛況で地域の賑わい創出に大きく貢献している。収支の改善や猛暑下での除草の遅れなどの課題を解決して、作業担当者の健康に留意しながら、盤石な運営体制のもと維持管理していただきたい。」

モニタリングレポート（年次評価）、審査会コメントともに承認された。

3. その他

(1) パートナーズより令和8年度事業計画を報告。

(2) 事務局より議事録とモニタリングレポートをホームページに掲載する旨の説明。